

2015年12月度の化学繊維生産・在庫の概況（速報）

日本化学繊維協会

【生産動向】

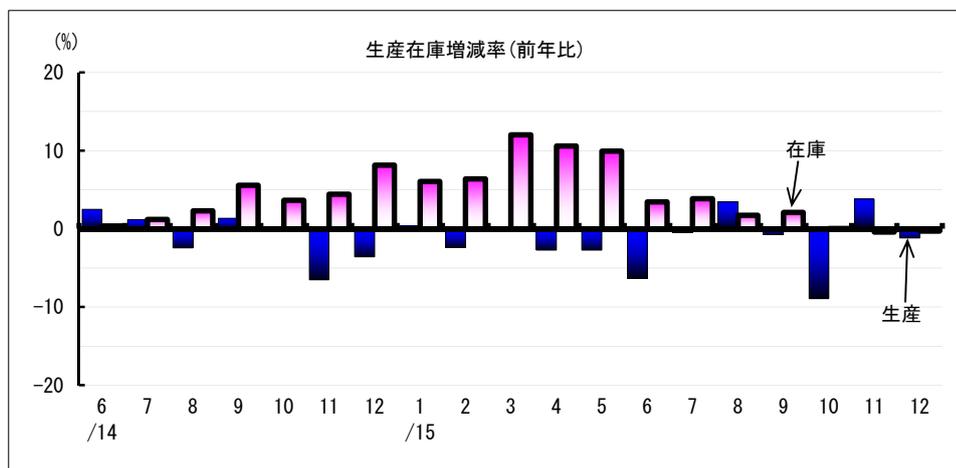
化学繊維生産は 76,060 トン、前年同月比 1.2%減、うち合成繊維生産は 61,989 トン、同 0.2%の増であった。

主要品種では、ナイロンFは前年同月比 15.9%減の 6,837 トン、アクリルSは同 5.3%増の 10,263 トン、ポリエステルFは同 9.8%減の 10,325 トン、ポリエステルSは同 8.9%減の 10,359 トンであった。

【在庫動向】

化学繊維在庫（生産者）は 88,137 トン、前月比 1.1%減、前年同月比 0.3%減、うち合成繊維在庫は 74,784 トン、前月比 0.6%減、前年同月比 1.4%の増であった。

主要品種では、ナイロンF 10,711 トン、前月比 2.8%減、アクリルS 11,081 トン、同 11.3%増、ポリエステルF 11,847 トン、同 4.1%減、ポリエステルS 19,483 トン、同 1.1%の増であった。



以上

ホームページアドレス <http://www.jcfa.gr.jp/>

お問い合わせ先：日本化学繊維協会 大阪事務所 榎本

TEL : 06-6231-6784

表1. 2015年 12月 化学繊維生産・在庫(速報)

[生産高]

	当月 (トン)	前月 (トン)	前月比較		前年同月比 (%)	累計(トン) 1月以降	前年同期比 (%)
			増減(トン)	比率(%)			
セルロース計	14,071	14,265	-194	98.6	93.1	171,805	100.4
ナイロンF	6,837	7,080	-243	96.6	84.1	89,567	91.4
アクリルS	10,263	9,942	321	103.2	105.3	141,517	100.5
ポリエステルF	10,325	10,117	208	102.1	90.2	127,663	94.1
ポリエステルS	10,359	9,392	967	110.3	91.1	134,287	91.6
ポリプロピレンF	6,564	6,948	-384	94.5	120.0	77,388	102.8
ポリプロピレンS	4,861	5,467	-606	88.9	107.7	56,611	104.8
その他	12,780	13,436	-656	95.1	114.4	161,936	105.0
合繊維計	61,989	62,382	-393	99.4	100.2	788,969	98.1
合計	76,060	76,647	-587	99.2	98.8	960,774	98.5

[在庫高]

	当月 (トン)	前月 (トン)	前月比較		前年同月比 (%)
			増減(トン)	比率(%)	
セルロース計	13,353	13,898	-545	96.1	91.4
ナイロンF	10,711	11,016	-305	97.2	107.4
アクリルS	11,081	9,954	1,127	111.3	89.6
ポリエステルF	11,847	12,352	-505	95.9	102.8
ポリエステルS	19,483	19,275	208	101.1	104.1
ポリプロピレンF	998	1,068	-70	93.4	88.9
ポリプロピレンS	5,543	5,705	-162	97.2	86.1
その他	15,121	15,852	-731	95.4	110.9
合繊維計	74,784	75,222	-438	99.4	101.4
合計	88,137	89,120	-983	98.9	99.7

表2. 合繊主要4品種 生産・在庫推移

<生産>

		生産高(トン)	前月比(%)	前年同月比(%)
ナイロンF	2014年12月	8,127	104.8	107.6
	2015年7月	8,064	112.1	91.6
	8月	8,115	100.6	98.7
	9月	7,710	95.0	92.4
	10月	6,547	84.9	85.1
	11月	7,080	108.1	91.3
	12月	6,837	96.6	84.1
アクリルS	2014年12月	9,742	105.9	91.8
	2015年7月	14,156	100.1	108.4
	8月	13,657	96.5	102.8
	9月	11,716	85.8	91.2
	10月	11,545	98.5	88.4
	11月	9,942	86.1	108.1
	12月	10,263	103.2	105.3
ポリエステルF	2014年12月	11,453	100.6	97.7
	2015年7月	10,845	98.2	93.3
	8月	10,782	99.4	96.0
	9月	10,090	93.6	90.6
	10月	10,935	108.4	101.8
	11月	10,117	92.5	88.9
	12月	10,325	102.1	90.2
ポリエステルS	2014年12月	11,376	113.2	89.8
	2015年7月	11,935	101.9	95.0
	8月	11,490	96.3	88.9
	9月	11,513	100.2	91.9
	10月	8,396	72.9	76.9
	11月	9,392	111.9	93.5
	12月	10,359	110.3	91.1

(注)最新月は速報値、その他は確報値

<在庫>

		在庫高(トン)	前月比(%)	前年同月比(%)
ナイロンF	2014年12月	9,972	103.6	106.4
	2015年7月	11,470	102.0	125.9
	8月	12,482	108.8	125.6
	9月	12,219	97.9	123.6
	10月	11,264	92.2	117.9
	11月	11,016	97.8	114.4
	12月	10,711	97.2	107.4
アクリルS	2014年12月	12,363	105.8	133.1
	2015年7月	10,917	101.6	104.7
	8月	10,693	97.9	89.0
	9月	10,719	100.2	87.5
	10月	11,050	103.1	90.5
	11月	9,954	90.1	85.2
	12月	11,081	111.3	89.6
ポリエステルF	2014年12月	11,520	102.2	90.6
	2015年7月	12,695	103.9	107.6
	8月	13,126	103.4	104.9
	9月	12,565	95.7	104.5
	10月	12,535	99.8	110.2
	11月	12,352	98.5	109.6
	12月	11,847	95.9	102.8
ポリエステルS	2014年12月	18,714	97.9	126.2
	2015年7月	21,750	103.4	108.2
	8月	23,300	107.1	104.0
	9月	23,373	100.3	108.9
	10月	20,102	86.0	99.2
	11月	19,275	95.9	100.9
	12月	19,483	101.1	104.1

(注)最新月は速報値、その他は確報値

<プレスリリース>

2016年1月28日（12時発表）

2015年の化学繊維生産の概況（速報）

日本化学繊維協会

2015年（年間）の化学繊維生産は96.1万トン、前年比1.5%減、うち合成繊維は78.9万トン、同1.9%減、セルロース繊維は17.2万トン、同0.4%増となった。

主要品種の生産は、以下のとおり。

ナイロンFは9.0万トン、前年比8.6%減。衣料用途は国内・海外向けともに低調、産業資材用途はエアバッグ用の輸出が減速した。

アクリルSは14.2万トン、同0.5%増。衣料用途は保温肌着向けが堅調、毛布やカーペットなど建寝装向けは不振、輸出は順調であった。

ポリエステルFは12.8万トン、同5.9%減。衣料用途は全般低調に推移、インテリア用途は盛り上がり欠け、産業資材用途は車両向けが伸び悩んだ。

ポリエステルSは13.4万トン、同8.4%減。紡績用途はユニフォーム向けが一巡、製綿用途は低位で推移、不織布用途は衛材向けが堅調だった。

上記以外では、ポリプロピレンF、Sの不織布衛材向けが堅調であった。

以上

2015年 化学繊維生産高（速報）

日本化学繊維協会

品 種	2015年 (トン)	2014年 (トン)	前年比較	
			増減(トン)	比率(%)
セルロース計	171,805	171,105	700	100.4
ナイロンF	89,567	98,028	-8,461	91.4
アクリルS	141,517	140,783	734	100.5
ポリエステルF	127,663	135,733	-8,070	94.1
ポリエステルS	134,287	146,561	-12,274	91.6
ポリプロピレンF	77,388	75,257	2,131	102.8
ポリプロピレンS	56,611	54,028	2,583	104.8
その他	161,936	154,219	7,717	105.0
合繊維計	788,969	804,609	-15,640	98.1
合 計	960,774	975,714	-14,940	98.5

(注) 非会員企業のデータについては推定値で集計した。